

CONTENTS 目次

- 2 特集 YAITA-JIN
- 8 地域おこし通信・ヤイタゴハン ほか
- 10 子育てひろば・図書館へGO！ ほか
- 12 今月のニュース&トピックス
- 15 はつらつ通信
- 16 市からのお知らせ
- 27 クイズ&アンケート
- 28 ゆかりびと・編集後記

COVER 表紙の写真



表紙の写真は、NIPPON-JIN PROJECT in 矢板の参加者の写真を組み合わせ、笑いの絶えない楽しかった撮影会の雰囲気をイメージして作成したものです。

当日は市内外からたくさんの方が集まり、スローワーク矢板にお祭りのようににぎわいが生まれました。

POPULATION 人口 (6月1日現在)

30,366 人 (△27)	出生	10 人
男 15,128 人 (△7)	死亡	52 人
女 15,238 人 (△20)	転入	80 人
13,408 世帯 (△1)	転出	65 人
() 内は 5 月 1 日との比較	※住民基本台帳をもとに算出	
△は減		

「今の矢板を人で表現する」

「日本とは?」「自分とは?」ニューヨークで写真家として活動してきた、たかはし じゅんいちさんが感じ続けてきた疑問。説明ができないのであれば、撮って、集めて、見てもらおうと、日本人 1 万人の撮影を目標にスタートした NIPPON-JIN PROJECT (日本人プロジェクト)。たかはしさんと同じ新潟出身で、キャリア教育開発イベントと一緒に開催し、昨年矢板市に移住した金澤さんから、「NIPPON-JIN PROJECT in 矢板は、すばらしいシティプロモーションになるから開催したい」と提案をいただき、広報やいたも参加しました。

たかはしさんは、「多くの言葉で主張・表現するのではなく、見てもらって、感じてもらうという表現を目指している」と言います。「日本人とは?」「自分らしさとは?」「矢板人としての自分とは?」「矢板ってどんなまち?」皆さんは、たかはしさんが切り取った 1 枚 1 枚の「YAITA-JIN」から、何を思いますか?



NIPPON-JIN
PROJECT



金澤 元紀氏

シミックホールディングス株式会社戦略人事部シニアマネジャー。専修大学講師。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。

2023 年 3 月に矢板市に移住し、テレワークを活用しながら週数回都内に通勤。

たかはし じゅんいち氏

1988 年よりフリーランスの写真家。1989 年、ニューヨークへ渡米。2009 年より東京ベース。

同年 Newsweek 誌が選ぶ世界で尊敬される日本人 100 人に選ばれる。



Instagram



ホームページ

YAITA-JIN

Photo by Junichi Takahashi

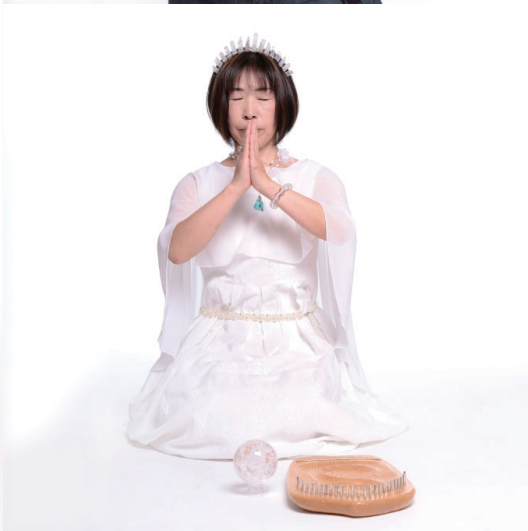
一枚の写真は千の言葉の価値がある。
A picture is worth a thousand words.



2024/04/19-20 @ SLOW WORK YAITA



Hair make-up : Maki Tokuji, Rena Kumazawa





自分らしく暮らすまち、矢板

「たかはしさんが写し出す矢板市の人々を見てみたい」金澤さんの提案でスタートした「NIPPON-JIN PROJECT in 矢板」、いかがでしたでしょうか。たかはしさんのレンズで切り取られた YAITA-JIN は、個性が解放され、自分らしさ、矢板らしさを伝えてくれています。

「愉快的人が集まるまち」「おもしろそうなイベントがある」「働いている人が楽しそう」「職人が住むまち」「すてきな人が暮らすまち」——。皆さんはどんなことを感じたでしょうか。

「多くのことを語る必要はなく、これらの写真を見てもらえれば、矢板市がワクワクするまちであることが伝わる」と金澤さんは改めてたかはしさんの「NIPPON-JIN PROJECT」の表現力のすごさを語ります。

「私たちが私たちらしく暮らすこと」それが矢板市の魅力を創り出すということ。これからも皆さん一人ひとりが声を上げ、やりたいこと、好きなことをカタチにできるまちを、共に作りましょう。YAITA-JIN 最高！

矢板人

